



さくらおか

【学校目標】
 徳・知・体のバランスのとれた
 質の高い桜っ子の育成
 【めざす子ども像】
 やさしい子・かしこい子・たくましい子

平成29年
 5月12日
 5号
 文責：校長

交通安全教室 「自転車は車のなかま」

4月27日（木）に「交通安全教室」を警察の方、交通指導員さんを招いて実施しました。

交通事故ゼロは、学校としての重要な目標の一つです。交通安全教室は、子ども達に自分の命は自分で守るという意識を高めるとともに、交通事故にあわないために気をつけることや交通ルールについて理解させるために実施しています。

子ども達を交通事故から守らなくてはなりません。小学生になると、行動範囲が広がってきます。子ども達は、保護者の方や教師の目の届かない所でのような行動をとっているのでしょうか。気になる所です。

警察の方に、子どもの交通事故の特徴を伺ってみました。子どもの交通人身事故で多いのは、「道路横断中」「自宅付近」「夕方の時間帯」「自転車の事故」「小学生の男の子」というキーワードがでてきました。そして、自転車では、交差点での安全確認が不十分なことや一時停止しなかったこと、歩行中では飛び出しが原因になっていることが多いということでした。その多くが、自宅から500m以内の道路でおこっていることが多く、子ども自身も慣れていて油断をしている結果だそうです。子ども達には、繰り返し道路は危険がいっぱいあると伝えていくことが大切であると強く思いました。

道路を歩いている時、子ども達は興味があることがあるとそのことに夢中になって周囲の状況が目に入らなくなり、危険なことの判断ができなくなります。ご家庭でも、具体的に道路での危険な行動や交通ルール・マナーについて繰り返し教え、自分自身で危険なことの判断やルールやマナーを守ることの大切さを理解させて、「命を守る」ことを身につけさせていきましょう。子どもと一緒に道路を歩いたり自転車に乗ったりされて、車に乗ってはいらない、危険な所と一緒に確認されることも必要だと思います。

★裏面に「自転車安全利用五則」を掲載しております。ご家庭での指導に活用してください。



全校集会の話 「凡事徹底」

一回目の全校集会が4月28日（水）にありました。次のような話を子ども達にしました。

皆さんおはようございます。いきなりですが、この言葉を知っていますか？

「ほんじてってい」と読みます。これは、当たり前のことを人には、真似できないほど一生懸命にやるという事です。

桜岡小のみんなで頑張っている挨拶。この当たり前の挨拶を、一人一人が、今以上に一生懸命に意識して行い、最高のレベルにしていくことが、今年目標の一つです。

挨拶をしている皆さんの姿は美しいものです。自分から挨拶をしている人。相手の声を受けてしっかりと挨拶をしている人。笑顔で挨拶をしている人。挨拶と同時に頭を下げている人。いろいろな姿の挨拶があります。自分で考える美しい挨拶の姿を目指しましょう。

今の皆さんの姿に付け加えてほしいのが、校舎の中で出会うお客さんや先生方にも「こんにちは」「さようなら」と言えるといいなと思います。

「凡事徹底」で取り組みましょう。五月も、皆さんの「挨拶」に注目していきます。

※合言葉「凡事徹底」について

イエローハットの相談役だった鍵山秀三郎さんという方が同名の本の中で伝えている考え方です。

当たり前のことを当たり前にやるのではなく、当たり前のことを人には真似できないほど一生懸命やるという意味です。仕事をして結果を作り出していくことを考えた時、難しい業務をこなせる人が凄いという認識があります。しかし、仕事上で起こることの大半は実は難しいことではなく簡単なことの積み重ねであると言えます。その一つ一つの行動に徹底的にこだわるか、ほどほどにやっているかが大切になります。当たり前のことを徹底的にやるだけでほとんどのことは達成できます。当たり前のことにこだわることの尊さを分かっているほしいと伝えられています。

